

啓伸塾便り

11月霜月
November

〒五〇一-六〇五一
岐阜県羽島郡笠松町上本町三十六
啓伸塾
発行者 福井 伸次

そのための宿題の役割！

勉強ができるようになりたい！テストでもっと点数を取りたい。これらのことは、中学生のみならず、当然持っている「願い」でしょう。
その願いを叶える方法は、この「啓伸塾便り」紙面で、みなさんにお伝えしてきました。特に、本年九月号、十月号ではそのことを詳しく載せてきました。
読んでいただけたでしょうか？
簡単に、楽に勉強が出来る方法はありませんが、それを効率よく、無駄なくできる方法があります。
それは、勉強時間を増やすことです。その第一歩が、毎日少しずつ勉強をするという習慣をつけることです。
また、「音読」も有効です。声に出して問題を読んでみて下さい。

毎日の学習の習慣づけのための宿題

勉強時間を増やす方法の一つが、宿題をちゃんと時間を取って、自分なりに考え、調べてやることです。
中学生のみならず小学生のみならず、塾からは毎回宿題を出しています。その量は少ないです。それを丁寧に、しっかりと考え、調べてやっても、負担になるような量ではありません。

また、その内容は、学校や塾で取り組んだ内容の復習です。この宿題が満足にできないような子は、家庭学習がまったくできないといえます。
宿題の第一の目的は家庭学習の習慣づけです。家庭学習の習慣づけは、責任感と時間管理のスキルを養うのに役立ちます。
宿題は毎日一定の時間に終えなければならず、それを達成するために時間を管理する練習といえます。

このように毎日継続して学習することは将来の成功において不可欠であり、幼い時から習慣づけるべきでしょう。

もうひとつの、宿題の重要な役割

まず、学校や塾で習った内容を復習できるという点で、宿題は学習の定着を促す役割を果たします。

新しく学習したことは出来るだけ早くからの振り返り、理解を深めることが大切です。

不思議なほど勉強に入っていける「やる気モード」への切り換え方！

おっくうな勉強も、歯磨きや洗顔のように習慣化してしまえば、おっくうだとか面倒だとか思わなくなります。

では、どうすればすんなりと勉強に入れるようになるか。

勉強に取り掛かる前の心理的抵抗感をできるだけ少なくすればいいのです。

実に簡単なことです

たとえば、料理が苦手な人は、カレーやチャーハンといった簡単な料理でも大変な作業に感じます。

しかし、もしそれらに必要な食材が、もうすべて目の前に揃っていて、あとはフライパンや鍋に投入するだけで完成するとしたら、そんなに面倒だとは思わないでしょう。

勉強もこれと同じようなことが言えます。苦痛だとかおっくうだとか意識しすぎるから、勉強になかなか手がつかないのです。「別にたいしたことない」と思えば、それほど抵抗なく手をつけられます。

自然体でスッと勉強に入っていける習慣術、それは次のような5つの習慣術があります。

1. 教科書（参考書）を机に開いて家を出よう！
2. 自分だけの“5分間儀式”で勉強スイッチON！
3. 夕食後のダイニングテーブルで勉強を始める
4. 得意な科目からその日の勉強をスタート！
5. ノルマを持ち帰らない“9時・5時勉強法”

上記の習慣術は次号でお伝えします。

今月の予定

- 11月 2日(土) 中3 入試対策・中間テスト対策 境川中
- 11月 4日(月) (振替休日) 通常授業を行います
- 11月 9日(土) } 中3 入試対策
- 11月10日(日) } 笠松中・岐南中・付属中
中間テスト対策
- 11月16日(土) 中3 入試対策講座
- 11月23日(土) 勤労感謝の日 入試対策
- 11月30日(土) 中3 入試対策講座

※中学中間テスト対策の時間は別途ご案内します。

宿題を通じて、子どもたちは、学んだことを自分のペースで復習する機会を持ち、長期的な記憶と理解を養うことができるのです。
それで、宿題を毎日決まった時間に行うことは、学業向上に寄与するばかりか、特に中学のみならずにとっては、テストで点数を上げる最も効果的な手段の一つです。
家庭学習時間の目安
家庭学習の時間の目安は、文科省の「家庭学習の手引き」には、小学生は学年×10分+10分とされています。
中学では学年×1時間、中学3年生はそれにプラスして、受験準備の勉強時間が必要です。
子どもたちの毎日の学校の宿題に塾の宿題を加えても、決して負担になる量ではありません。
その宿題の狙いは、学校や塾で習ったことを頭に定着させることです。決して難しい内容ではありません。毎日決まった時間を宿題に充てるだけで、家庭学習の習慣が身につくとき、さらに学力の向上も期待できます。一石二鳥です。

宿題の効果を最大限に生かす「3」

宿題の効果を最大限に引き出すためには、家庭でのサポートが欠かせません。
親さんや家族の方が、子どもたちの学習を見守り、励ましの言葉をかけることが大切です。それは宿題に取り組み姿勢や意欲に影響を与えてくれます。

親さんもしっかり勉強しましょう

中学校の勉強になると、子どもたちの質問に簡単に答えることは難しくなることがあると思います。その時は、いっしょに勉強することも、子どもたちの学力向上に大変効果的です。

親さんが手本になって、勉強に取り組み姿勢を子どもたちに見せましょう。親さんも新しい知識を獲得し、共に成長する機会を持つことができます。

親子でいっしょに読書を楽しむ、数学の問題に取り組みなど、共同で学ぶ方は、いろいろあります。